



広報委員
 委員長 長谷川多一
 副委員長 大西徹
 委員 舟瀬勝
 若宮淳也
 貞森義和
 大野原徳

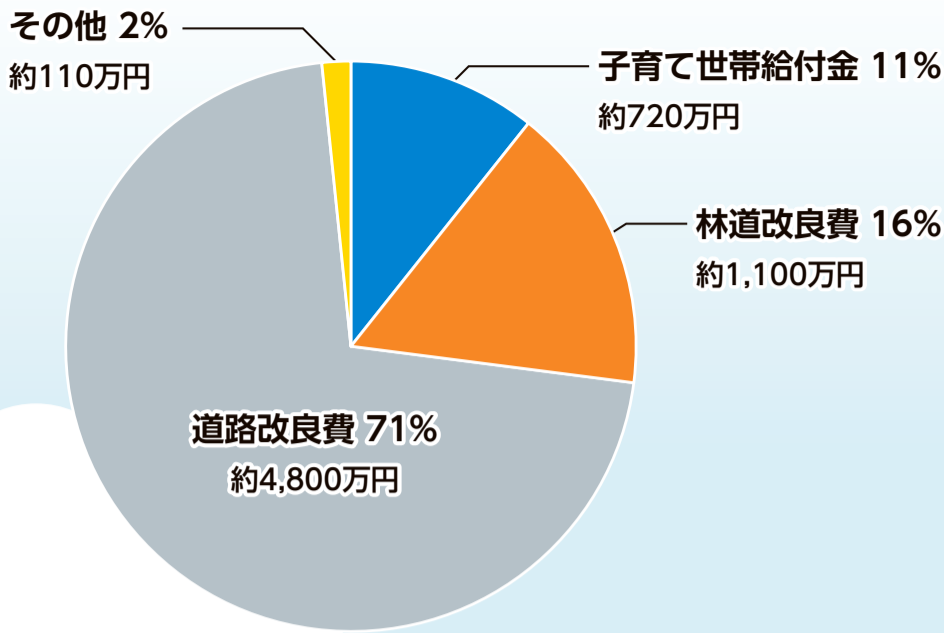


令和3年 第2回定例会 令和3年6月8日～18日

○この度の定例議会では、国・県交付金事業の新設・内示などによる事業費の増額に伴う補正、約6,730万円の補正により、一般会計予算 約41億8,000万円が上程され、議決いたしました。

一般会計補正予算科目別予算内容

●補正予算内訳



◆新型コロナウイルスに関する情報

当町におけるワクチン接種は、順調に行われており、7月10日現在1回目を終わられた方が、16歳以上の町民の約47%、2回目まで終わられた方が約20%となっています。

今後は、65歳以上の高齢者の方を7月末までに完了し、同時に65歳以下の方についても並行して接種を進める予定となっており、すでに40歳以上の方については、接種券の発送を終了しております。

さらに、7月中旬までには16歳以上のすべての方に接種券の発送を終了する予定で作業を進めていただいている状況です。

詳しくは、町のホームページをご覧ください。

<http://www.town.watarai.lg.jp>



接種風景



待機風景

視察

宮リバー度会ソーラーパーク (太陽光発電事業)

工事の進捗状況を確認いたしましたところ、現在では写真にもみられるとおり、大半の場所に芝生が植えられ、発電用パネルの設置もはじまってきておりますので、ほこりの飛散も多少は軽減されるのではないかと思います。



芝生の植え付け状況



発電用パネルの設置状況

一般質問

長谷川多一 議員



○新型コロナウイルスの優先接種について

今後のワクチン接種に関して、接種対象外である幼児、児童、生徒をコロナから守り、加えて、災害にも対応できるよう、これらの関係者に対する優先接種を実施してはいかがでしょうか。ただし、町民には対象者選定の考え方を公示し、理解を得ることが必要ではないかと考えますがいかがでしょうか。

町長答弁

優先接種の対象者数ですが、261名が想定されます。町としても議員同様の考え方にありまして、優先接種の接種対象者の選定にあつては、国や県の指針を参考に協議を重ね、調整等を進めております。

今後におきましては、定められたルールと委ねられた裁量の範囲で不公平感が生じないように順位を定め迅速かつ円滑な接種に取り組みます。

○旧一之瀬小学校校舎の有効利用について

小学校統合以来遊休施設となり、町が行っているメンテナンス費用も無駄な経費と言わざるを得ません。そこで施設を有効利用することにより費用対効果も生まれ、利用方法次第では過疎化対策の一助にもなるのではと考えます。そこで、施設利用に関する提案を広く町内外から募集してはどうですか。

町長答弁

廃校以降、これまで数件の利活用の申し出がございましたが、いずれも条件が折り合わず、利用に至っておりません。今後とも民間企業等の活力を生かし、地域の方々のご理解を得て進めてまいりたいと考えております。

また、再募集に向けてさまざまなご提案が頂けるよう検討中でございますので、整理できましたら多くの媒体を通じて幅広く募集を行ってまいりたいと考えております。



貞森 義和 議員



○防犯対策…性犯罪から児童、生徒、若者を
守るための環境整備について

防犯灯の設置など環境整備を見直す必要はないのか。各区長さんに依頼して夜道等の安全を再確認してもらいたいと思うがいかがなものか。

町長答弁

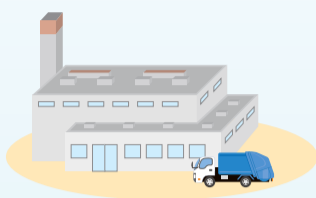
度会町では、夜間に歩道を使用する町民の安心安全を確保するため、継続的に対策を講じることが必要であると考えています。

歩道を明るく照らすために、毎年度の予算に「防犯灯設置事業補助金」を計上し、各地区からのご要望に沿って、支出される金額の2分の1を補助しております。

この補助制度を活用し、すでに多くの地区で防犯灯が新しく設置または更新されております。今後とも町民にとって安心して住むことができる街づくりを推進していきます。

○広域事業としての新ごみ
処理施設の建設に関して

四つの自治体が共同で運営するごみ処理場は、作り直す必要があるという現段階で町当局はどこにどのような処理場ができ、どの程度の経済的負担を求められるか、どれほどの準備をしているか。



度会町ごみ処理施設対策会議の設置を希望する。

町長答弁

新たなごみ処理施設の整備は、伊勢広域環境組合において、伊勢広域環境組合ごみ処理施設基本計画策定委員会を設置し、施設規模や可燃ごみ焼却処理方式、各種機能などについて検討されています。

新ごみ処理施設の建設候補地は、伊勢市西豊浜町にある現在の清掃工場の東側3.7ヘクタールとなっております。

建設経費は、構成市町である伊勢市、明和町、玉城町、度会町の分担金で賄われます。本町の負担

割合は事業費から補助金等を控除した額の約7%と推計されます。分担金については、概算事業費が算出された時点で、お示しすることができると思っています。最後に「度会町ごみ処理施設対策会議」の設置については、考えておりません。

大西 徹 議員



○小中学校のPTA役員選出のあり方と、
中学校の役職輪番の現状について

生徒数の減少に伴い、各地区で地域差が出ており役員を何度か引き受けなければならぬ現状だと聞きました。また、ニュースや新聞でも「母親代表」の役職のあり方が取り上げられていることもよく聞きます。

PTAは独立した組織ではありませんが、この様な現状を教育長はどのようにお考えになりますか。

教育長答弁

PTAの本来の位置づけは、保護者と教師の自立的な運営団体で、自治体・教育委員会から指示を受けることはなく、学校の付属機関でもなく、保護者を中心とした独自性を持った機関であるということです。

しかしながら、現状として議員ご指摘のような様々な課題も顕在化していると聞いております。

一般論ではありませんが、課題(例えば、一人の保護者が役員を数回担当)に対する改善が求められているとも聞いております。

少子化における子どもたちの社会性を伸ばすために、保護者と教師で組織する唯一の自主的かつ独立した組織として期待しています。

○中学校の部活指導について

働き方改革等で、部活指導を現在の学校部活動から地域部活動に移行させる取り組みが進んでおり、令和5年には部活指導が廃止になると聞きました。

その場合の地域部活動実施についてお聞きします。

①現状はどのようなようになっていますか。



②廃止となった場合、保護者、地域の指導者、スポーツ推進委員、民間スポーツクラブ等が受け皿、担い手となるのですか。

教育長答弁

①教員の長時間労働を是正するため、文部科学省は、休日の部活動について、学校の管理下から外して地域活動に移行する方向で、2023(令和5)年度以降段階的に全国展開していく計画です。

一方、度会中学校の今年度の部活動は、合計(8)となっており、昨年度と、今年度で2つが部活動としての活動を停止すると聞いております。

②③(廃止となった場合と費用負担は?)

活動が停止された部活動は、度会スポーツクラブに所属し、地域スポーツとして活躍していると聞いております。また、今年度で活動を停止する予定の種目につきましては、すでに、昨年末に受け皿としてのクラブチームを立上げ、活動がスタートしていると聞いております。

なお、議員ご指摘の今後の費用負担についてですが、今後、国や県の支援策等を注視し、保護者の費用負担軽減も含めた、様々な課題解決に努めてまいりたいと存じます。

若宮 淳也 議員



○防災について

・防災と感染症対策の両立について

各地域では地震、水害のリスクが高まっています。町として、災害時の、特に避難場所等での感染症を防止する何らかの対策を講じるべきだと思いますが、お考えをお伺いします。

・ハザードマップを活用した避難場所や防災訓練について

3月にハザードマップが改正され、災害などの危険地域を詳細に想定したものになっています。しかし、避難場所などは、危険な場所に設置されている地区も

多い。新しいハザードマップに基づいて町としても危険場所の周知徹底を行うべきではないか、また、水害の多い時期なので今からハザードマップの講習など行って防災意識を高める必要があるのではないか。

町長答弁

コロナ禍における避難体制については、想定される事案について、さらに細かく行き届いた設定をするよう進めてまいります。

防災マップの活用に関して、ご指摘の災害時に危険区域となる場所に位置する公共避難所は6箇所あり、災害種別ごとに使用の可否を設定しております。

○SDGsと環境問題への取り組みについて

SDGsについては、各自治体や企業なども取り組みを進めており、当町も施策のなかにSDGsの視点が取り入れられています。

また、世界的な温暖化の影響を受け、当町のSDGsや温室効果ガス削減などの取り組みをどのように考え、展開していこうとお考えなのかをお伺いします。

町長答弁

度会町では、総合計画では、「森林や河川の保全に継続して取り組む」「近隣市町と連携し、限られた資源を有効に活用する」といった目標を掲げております。

次に、CO2削減についてですが、2006年1月に「地球環境にやさしいまちをめざして」として度会町地域新エネルギービジョンを策定し、2021年4月には近隣5町と「ゼロカーボンシティ宣言」を共同表明いたしました。また、国が進めるスーパーシティ構想の特指指定についても6町で取り組んでおり、その中で環境と地域産業活性化について自治体間で連携して地域課題の解決に向けての取り組みを開始しております。

ここで、度会町のCO2排出量の現状でございしますが、CO2排出量と吸収量を比較した場合、吸収量の方が上回っていることが分かっております。

